

履 歴 書

氏 名 ま 真 の 野 つよし 毅

生年月日 昭和31年 1月21日

本 籍 香 川 県

住 所 東京都調布市

職 業 無 職

学 歴 大阪府立大学工学部 昭和53年卒業
米国ワシントン大学 (M B A) 昭和62年卒業
(京セラ株式会社からの派遣留学)
専修大学 K S コミュニティービジネスアカデミー
平成21年 8月修了

主な経歴

京セラ株式会社

自 昭和 53 年 3 月

至 平成 20 年 3 月

平成 13 年米国出向までの略歴：

産業用セラミックスの海外営業を担当した後、コーポレート・ベンチャーキャピタル事業、M&A、事業提携、海外子会社の管理育成などを担当

平成 13 年 K W C (Kyocera Wireless Corp.) に出向：

米国クアルコム社の携帯電話端末部門 (開発・製造・販売) を京セラ株式会社を買収し、100%子会社化としたもの)

経営戦略担当副社長

自 平成 13 年 3 月

至 平成 15 年 8 月

取締役社長

自 平成 15 年 8 月

至 平成 18 年 6 月

売り上げ 10 億ドル（1,000 億円）以上、従業員約 3,000 名の文化・人種・言葉の違う米国子会社を経営。創業以来の赤字から、3 四半期連続の利益を確保することに成功。製造（中国）、開発（インド）の海外移管を積極的に敢行

京セラ株式会社に復帰

自 平成 18 年 6 月末

至 平成 20 年 3 月

通信機器関連事業本部事業戦略部長

クアルコムジャパン 株式会社 代表取締役社長

自 平成 20 年 4 月（6 月に社長就任）

至 平成 21 年 2 月

事業規模：米国サンディエゴに本社があるクアルコム社〔売り上げ 110 億ドル（1 兆 1,000 億円）以上〕の日本の営業拠点。従業員約 100 名

事業内容：日本のすべての携帯電話メーカーがクアルコムから技術ライセンスを受けており、KDDI 向けの携帯電話のほぼ 100%が、クアルコムのベースバンド IC を使用。CDMA（「符号分割多重接続」の略。携帯電話などの無線通信に使われる方式の一つ）に関する技術の研究開発・CDMA 端末用半導体およびソフトウェアの開発・製造・販売